

「グローバルアントレプレナーシップ入門・演習」を履修して

まず、私がこの授業を履修した理由について述べます。私は、もともとこの授業が起業に関するものであることを知っていました。しかし、起業に憧れはあっても、実際に起業する予定はなく、起業は自分よりも優秀な人がするものだと考えていました。そのため、授業の説明会を聞きながら履修すべきか迷っていました。そんな中、説明会の最後に「起業の予定がなくても履修して問題ないか」と質問したところ、先生が「この授業の本質はアントレプレナーシップ（新たな価値を生み出す精神）を養うことにある」とおっしゃいました。その言葉に背中を押され、履修を決めました。

次に、「グローバルアントレプレナーシップ」という授業を受けた感想を述べます。この授業は前期と後期に分かれており、それぞれ「入門」と「演習」という形で構成されています。

前期の「グローバルアントレプレナーシップ入門」では、日本と海外のビジネスの違い、ビジネスプランの作成手順、アイデアの発想法、そのアイデアが成功するため・生き残るための戦略、さらには世界で戦うための考え方、考えを的確に伝えるプレゼンテーションの方法などを学びました。この授業を通じて、起業は特別な才能を持つ人だけができるものではなく、適切な手順を学べば誰にでも挑戦できるということを実感しました。

後期の「グローバルアントレプレナーシップ演習」では、様々な外部講師の方々からなぜ起業したのか、実際に起業する際の注意点、頼るべき機関などについて貴重なお話を伺いました。また、前期に比べて個人での活動が増えたため、入門で学んだことをより実践的に身につけることができました。

この講義を1年間通して受講し、起業する人には確固たる信念があり、それを実現するための手段として起業を選んでいるに過ぎないということを強く感じました。そして、自分自身が世界を知らなすぎる、明確なビジョンを持っていないという現実にも気づかされました。そのため、これからは中央大学の海外留学支援を活用するとともに、個人的にもさまざまな国を訪れ、より広い視野と多角的な視点を持ち、世界のニーズが何なのかを探求していきたいと考えています。

この講義は、起業や留学に強い関心を持つ人にとって、必要な知識を身につけ、貴重なコネクションを築く機会を提供してくれるものです。また、私のように漠然とした興味を持っている人でも、これからの時代に求められる人材とは何か、そしてそれに必要なスキルは何かを学ぶことができる、非常に有意義な授業だと感じました。

